令和２年度　内部評価記入用紙

新宿区立落合第六小学校

氏　名　（Ａ　Ｂ　　ま　と　め）

項目	評　価　指　標	良かった点・反省点	改　善　策	たち成度(４段階)
１　教育課程・学習指導	１１ 指導目標、指導計画、授業時数などの教育課程の編成　・実施状況	・限られた授業日数ではあるが、行事が少なく土曜授業もあり、じっくり授業を進めることができた。 ・土曜日の授業で授業時間確保できたが行事が少なく楽しい他学年との関わりがもてなかった。 ・コロナで調整を余儀なくされたが、行事等が減ったので対応はできている。 ・45分授業と１時間授業の混在は、厳しいと思う。 ・時数は足りないままであるが、学習は年間計画に追い付いている。 ・土曜授業は、子どもも教師も疲れてよくない。 ・月曜の朝会がどうしても1時間目に入ってしまう。 ・そもそも登校時間を未だにギリギリ、または遅刻してくる児童が多いことが気になる。	・コロナ禍（withコロナ）での学校の新しい在り方、安全で、無理のない計画づくりを望む ・これ以上の改善策は難しく現状維持と思います。 ・朝の朝会・昼の集会・掃除等、今は時間の設定が厳しいので、子どもたちの実態を捉え、余裕をもって、授業時間を確保するためにも、生活時程を見直し、45分授業で良いのではないかと思う。 ・土曜授業については、今年度はやむをえない。 ・月曜日のみ、かつての45分スタートと同じにする。 ・登校時間を保護者に徹底周知すると共に、挨拶などと同じように、登校時間にも意識するような、はたらきかけをする。	2.6
	１２ 観点別学習状況の評価及び評定（学習指導要領に対応して）	・段々に改良していくのがよいのか、開始時＜今年度＞かなり煮詰めておくべきだったのか ブロックや学年で変わっていくことなども学校としてHPやたよりで知らせていた。本校では、詳しくはなかった。 ・あゆみの４観点から３観点になり教科担当で考えた対応ができた。 ・自信がもてずその後の細かいチェックをしていただけるとよかった。 ・評価する側は観点が減りつけやすくなったが、受け取る方はどのくらい理解できているのかということが気になった。 ・音楽　全国大会等もあり、新学習指導要領の評価は自分なりに、勉強したつもりであったが、実際の評価となると、迷うこともあったので、日々の授業の子どもたちの見取りも観点を絞って行っていくようにする。 ・新学習指導要領実施に伴う「あゆみ」の文言の変更が大変だった。 ・観点別評価の文言を各学年で見てもらえたので、細かい修正ができた。	・校長方針・学校（ブロックや学年）の考えを保護者に理解していただけるように明示していく 通知表委員会を作りチェックを入れてもらえるとよかった。 ・「あゆみについて」のお知らせは、保護者会で配ることが多いが、あゆみと一緒に渡した方が良いかと思う。	2.7
	１３ 運動や体力、体育に関する全体計画	・コロナ禍でできることが変わるたびに、確認していくとよかったかも。 ＜２年生のマット運動には？だった。＞ ・体育学習発表会として小規模でも実施することができたのは良かったです。 ・コロナの中、体育発表会ができてよかった。 ・上級生の走りを見せられず今後の目指すモデルとなり、目指すものがつかめなかった。 ・制限があり、できないことも多かった。 体力向上を促す取り組みがなくなったことは残念。新しい取り組みを考えていきたい。 体育の時間で取り組むことはもちろん、全校共通の取り組みとして何かできないか。 ・コロナのために体育集会ができなかった。	・文科や都、区の方針からの学校としての状況説明が時々出されるとよいかも コロナの中体育部は考えこれ以上のことはできなかったと思えます。 ・委員会等からの発信で進められるかも。年間を通じて。 新宿ギネスを活用する。 ・大縄程度の体育集会ならば、実施できたかもしれない。	2.9
	１４ 児童による授業評価の結果	・児童の学校評価が、難しく適切な評価ができていないと思う。	・来年はＧＩＧＡ構想で一人１台ＰＣ環境になるので、デジタルアンケートにしたい。集計が簡単。 ・学年に応じた評価項目や文面に変える。	2.4
	１５ 視聴覚教材や教育機器などの教材・教具の整備と活用状況（ＩＣＴの活用）	・十分に使わせていただきました。R3には、個別にかつ児童用デジタル教科書が入る？ ・PCとプロジェクターが連動していて、なおかつホワイトボードなので直接映し出せるのが、授業をする上でとてもやりやすかった。 ・クラスの割り当て表を作ってもらえたので1年生もタブレットを使うことができた。 ・使わない時は、声をかけてもらえたので十分	・Ｒ３には、個別にかつ児童用　デジタル教科書が入る？ ・これからもクラス割り当てを作る。 ・1人1台になった時の、取り扱いや充電方法など、新たな整備が必要となってくる。 区の方針を待つしかない。	3

		に他学年にも活用できた。 ・台数が足りない。 1人1台になった時の、現タブレットはどうなるのか？ ・タブレットＰＣは十分すぎるほど活用されている。 ・活用されている反面、経年劣化（キーボートとの接触不良、ボタンが外れる）が目立ってきている。しかし、修理に出すとなかなか帰ってこないので、台数が減ってしまう。 ・もっと算数でタブレットを活用したかった。特に図形。予約台数など検討してほしい。 ・タブレットがかなり傷んでいる。 ・キーボードが反応しないものもある。 ・通信状況が悪い	・来年度はＧＩＧＡ構想に伴って、一人１台タブレットＰＣが来るので、サーフェスの利用頻度は下がるかもしれない。 ・区への要請	
	１６ 体験的な学習や問題解決的な学習、児童の興味・関心を生かした自主的、自発的な学習状況	・自主的・自発的と「主体的」の違いは？ですが、問題解決的な『自律した』学習を６年生は頑張ったと考えています。体験は安全面と表裏一体ですね。 ・自分自身がみらい科の授業を充実させられるようにしたいです。 ・おちろくＤＡＳＨ　Ｊｒ．での活動が2.年生のリーダーシップを引き出した。 ・お膳立てのない活動の中で、自分たちで学習を進める難しさを知った。 ・制限ある中で、よく工夫されていた。 保護者も理解してもらえたのでは。 来年度は、本年度の取り組みを越えていくことが求められるのか。新たな連携や工夫をしていく準備をする。 ・今年度は公共交通機関などを利用した校外での学習が難しく残念であった。 ・コロナ禍で活動に縛りがある中での学習活動だったが、子どもたちの思いを大切にして、可能な限りでそれぞれの学年が手法を凝らしていたと思う。 ・今年度から、おちろくＤＡＳＨＪｒ．が始まった。昨年度の反省を生かして１，２年をＤＡＳＨと別の活動にしたのはよかった。２年生のリーダーシップ育成、１年生の主体的に学ぼうとする意欲の喚起、などメリットはある。	・文科や都、区の方針からの学校としての状況説明が時々出されるとよいかも ・来年度もおちろくＤＡＳＨ　Ｊｒの活動をさせるとよい。 ・情報収集と情報交換を校内校外で積極的に進めていく。 ・来年度も公共交通機関の使用不可だった場合は、近場の公園でも良いので、遠足などを実施したい。 ・この状況下はしばらく続くと思うので、よりよい方法がないか探る必要があると思う ・ＤＡＳＨＪｒ．とＤＡＳＨの両立は難しい。低学年の担任はＤＡＳＨＪｒ．のみの参加でよい。	2.9
	１７ 個に応じた指導の充実状況 （少人数学習指導,ＴＴ,習熟度別指導,児童の興味・関心に応じた課題学習,補充的学習や発展的学習の実施など）	・３学期に「補充的学習」頑張ります。児童の興味・関心に応じた課題学習をメインでやってきたように思っています。 ・低学年の算数も習熟度別だとより児童の学習が深まるのではないかと思います。 ・習熟度別は、質問をしやすくてよい。一斉指導とは違い、算数では、特によいと思います。 ・算数と国語の少人数は、効果があると思う。 ・休み時間に補習を行っていただいており、ありがたい。	・この項目の文言、改訂したほうが良いのかも。新学習指導要領等々に準じて ・今後も続ける。 ・今後も継続していただけるとありがたいです。	2.9
	１８ 授業や教材開発における外部人材の活用状況 （ＡＬＴ、ゲストティーチャー、図書館支援員など）	・外部人材の安全性も気になりましたが…何回かアタックして２回できました。 ・実際に保護者の獣医さんが来てお話をして下さったことが印象に残っていますマイスターの方がいて教えてくださるのも人材に恵まれていなと思いました。 ・Ａｌｔは特によかった。外国の人となれることができる。 ・難しい会話は、厳しい。 ・外部との連携を積極的に進められた。 つながりを広げていくことは今後に役立つと思われる。 ・社会科見学等に行けなかった分、出前授業（ゲストティーチャー）を十分に活用することができた。 ・５年生についていえば、女神湖ＶＲはコロナでなければできなかった貴重な体験をさせていただいた。 ・おちろくマイスターとして、地域協働運営委員のＫ氏に参加していただき、ＤＡＳＨＪｒ．の様子を直に見てもらえたので、より地域と連携できたと感じた。 ・ＡＬＴの時間を増やしていただけたことで、低学年も授業ができた。	・コロナの安全性に対応して無理なく行う。 ・今後も続ける。 ・連携先との継続の是非を検討する。 ・効果的であった出前授業については来年度に引継ぎ、早めに予約する。 ・もっとマイスターを活用していく。そして、子どもたちの取組を知ってもらう機会としたい。	3.1

令和２年度　内部評価記入用紙

新宿区立落合第六小学校

	１９ 地域の自然や文化財、伝統行事などの教育資源の活用状況	・落合遺跡など行きたかったが…無理はしませんでした。 ・哲学堂公園に行った際に、自然や様々な文化財がありとてもいいところでした。 ・哲学堂公園での活動がよかった。水の塔も遠くから見るだけでもよい。 ・コロナで地域の行事がなくなっていることは、仕方のないこと。 ・狂言の授業や新宿区からの講師派遣等もあり、充実した活用ができた。 ・外出が難しいコロナ禍においても、実施方法を工夫して、狂言体験ができたことは、本当に良かった。 ・狂言にふれることができたのは、子どもたちいとって貴重だったと思う。	・文科や都、区の方針からの学校としての状況説明が時々出されるとよいかも ・コロナ感染防止が最優先。 ・伝統芸能体験教室は、来年度も、実施方法を工夫して行いたい。	3.1
	１１０ 学校図書館の計画的利用及び読書活動の状況	・再開当初、使えないような状況だったのが残念！　読書してよい時間も気になる。 ・親子読書や１００冊チャレンジ等の本にふれあう機会が多く良いと思いました。 ・図書館入り口の消毒をしてからの使用でよかった。 ・貸出冊数は1年生は3冊は、多く借りる本が絵本なので重かった。 ・図書館からの貸し出しを有効活用させてもらえた。100冊運動の教材が変更になって、使いやすくなった。 ・教科学習に関わる本を毎月用意していただけてありがたい。 ・高学年は他教科との兼ね合いもあり、図書の授業として図書室を活用する時間がなかなか確保できない。 ・図書館支援員の方が、細かく丁寧な作業をしてくださったので、読書活動推進につながった。 ・図書室の利用に制限があったが、クラスに本を配布していただけたので、子どもたちは読書をする機会がもてた。	・机の配置など変えて、密をより避ける。矛盾して、３７人座れない入れないのは工夫していく。 ・低学年は、通常２冊で、休み前は3冊がよい。 ・引き続きお願いします。 ・タブレットで本を読むことはできないか。おすすめ本など電子書籍を入れて欲しい。	2.7
	１１１ 特別活動の実施状況（児童活動、学校行事、学級活動）	・正直、無理して行っている感じが否めなかった。何事もなくここまで来たが、おちろく班活動・清掃は（安全面から）よかったのか？どうか疑問が残る。 ・今年度の状況で仕方のないところもありましたが、できる限り頑張ってやっていたと思います。 ・子どもたちにコロナ感染防止の大変さを伝えることはできた。 ・おちろく班清掃では、子どもたちによる机の椅子消毒は、難しい。５校時もあるので。 ・子どもたちなりの創意工夫が見られた。 ・コロナ禍のため、今年度は例年通りにできないことが多かった。 ・今年はイレギュラーでなかなか思うように活動ができなかった。 ・こういった状況への対応も柔軟に考えていく必要がある。 ・おちろく班あそびが水曜に実施されているが、低学年の下校やクラブ活動、会議等重なっていて慌ただしい。	・コロナの安全性に対応して無理なく行う。 ・放課後担任教師は、改めて消毒をする。 ・来年度もできないことが多いと予想されるが、近場でも良いので遠足に行くなど、何かしら形で学校行事を行いたい。 ・コロナを受け、こういった事態もありうるということで、できることを精査し、企画していく。 ・おちろく班あそびは、月一程度なので、縦割り掃除をしている月火木のどこかにしてはどうか。 また、その日は掃除をなしにして昼休み＋掃除時間の約30分を遊ぶ時間すると落ち着いて活動できるのではないか。（月１くらいなら、ごみ拾い程度の簡単清掃にしてもよいと思う。）	2.7
	１１２ 道徳教育の実施状況	・週１、決めた時間に授業を実施した。 ・今年度の状況で仕方のないところもありましたが、できる限り頑張ってやっていたと思います。 ・教科書とノートがあるので進めやすかった。 ・公開はなかったが、紙面で発信ができたので良かった。 ・今年は、道徳地区公開講座の講演がなくて残念だった。 今年は、公開をしなかったため、道徳通信のような形で保護者に知らせたが、今後は、こういった状況の場合の道徳授業地区公開講座のもちかたを考えておいた方がよいのではないかと思う。 ・道徳ノートが使いづらい。 ・今年度の道徳デーの取組がよかった。来年度も同様の形式にする。	・行事でつぶれなければ、時数内容ともに実施できる。 ・続ける。 ・案があれば教えてほしい ・学年に応じてノートやプリントを活用する。	2.9
	１１３ 生活科・総合的な学習の時間の実施状況	・行事とタイアップしての学年総合は×総合＝学校の経営方針と考え、真面目に検討していくべき ・今年度の状況で仕方のないところもありまし	・コロナ禍（withコロナ）での本校の在り方が表れるところ カリマネどうするか ・今後も応募する。	2.9

令和２年度　内部評価記入用紙

新宿区立落合第六小学校

		たが、できる限り頑張ってやっていたと思います。 ・1年生はあさがおの種まきも間に合いよかった。あさがお終了後もヒヤシンスやチューリップの球根パンジー、ビオラそしてノースポールの寄せ植えができ例年になく充実することができた。 ・校外学習ができてよかった。行先や活動内容等検討しながら、今後はもっと実施できるようにしたい。	・現状では難しいテーマ設定となっている５年生の総合的な学習の時間の計画を考え直す必要がある。	
	１１４ 運動会・学芸会等の学校行事の実施状況	・やってよかったが無理した感も残る ・今年度の状況で仕方のないところもありましたが、できる限り頑張ってやっていたと思います。 ・体育発表会は、実施してよかった。 ・新たな形の実施だったが良い面もたくさんあった。今後も精査した内容で新しいものを提案していく。 ・今年度はなし ・運動会ができなかったのは残念だが、体育学習発表会ができてよかった。運動会と比べると、縮小してはいたかと思うが、子どもたちの満足感は高かったように思う。職員の負担も軽減したように感じたので、運動会も今回のような形式のスリム化したものでもよいと思った。 ・今年は教員の人数が少なくて大変だったと思う。給食なしの振替ありなら、教員以外も手伝えてよかったのでは。 ・体育学習発表会の取組がよかった。来年度も今年度のような分散型もありかもしれない。	・１１３に同じ ・今後も同じコロナの状況下では、実施する。 ・行事の精選、または時短等改善を行う。 ・例年どおり実施できるとよい。給食業者に手伝いを頼むのはもうやめたほうがいいのかなと思う。 ・種目については、低・中・高のなかでもっと連携して決定していく。	2.9

項目	評　価　指　標	良かった点・反省点	改　善　策	たち成度 (４段階)
１　教育課程・学習指導	１１５ 食育教育の実施状況（食育全体計画、指導、評価）	・調理実習ができなかった分、給食等々でより配慮は行った。栄養士にもお世話になった。食材の情報や季節に合わせた料理が食べられるので、環境はとてもよい。 ・栄養士が給食途中で教室に来てくださり、子どもたちの質問に丁寧に答えてくださり、食育が充実していた。 ・リクエスト給食は子どもたちが好きな献立をとり入れてもらえるだけでなく、栄養バランスについても考える良い機会になっている。 ・毎日の給食だよりに食材についての知識などが書かれている。 ・授業時数が少なくなり、全学年のリクエスト給食ができなかった。（5・6年は実施） 特別給食もコロナでできなかったのが残念。	・食は大切。今まで以上に意図的に入れたいと思うが… ・これからも実施していただく。 ・全学年の食育指導及びリクエスト給食の実施を図る。 1・2年の食育授業、その他特別給食は、できるようになったら再開したい。が、コロナが収まっても衛生面には十分配慮が必要である。	2.8
	１１６ 人権教育の実施状況	・一人ひとりを尊重する心を道徳や色々な場で話をする。	・これからも続ける。	2.5
	１１７ 環境教育の実施状況	・リサイクルペーパーが多い気もします。 ・自宅から持ってきたお菓子の箱や段ボールなど、誰のものか盛らなくなり学校で捨ててしまうことがある。 ・裏紙の利用や、使った紙・段ボールのリサイクルなどが子どもたちに浸透している。	・各人・各教科でリユースすべき時代かと ・自宅に持ち帰らせリサイクルさせる。	2.6

９　保護者地域との連携	９１ 地域協働学校運営委員会やＰＴＡ、地域との連携の実施状況	・保護者の方の協力が有りがたかった。 ・空間ワークショップは、子どもたちの発想が専門家の方の技術でダイナミックに実現していき、子どもたちにとっても充実した時間となった。 ・紙面決議やオンラインでの委員会開催など、臨機応変に対応するなど、工夫をされていた。 ・展覧会やおちろくＤＡＳＨＪｒ．などで連携できた。	・今後もお願いしたい。 ・オンラインなどの活用をもっと活用する。 ・今年度は連携する機会が少なかったので仕方がない。	2.9

	９２ 学校開放などの実施状況、学校運営への保護者、地域住民の参画及び協力の状況	・おちろくDASHに保護者の方が来てくださりありがたい。 ・5年生のバーチャル女神湖は保護者の方の力なくしては成し得なかった。		2.8
	９３ 幼小・小中連携など学校間の連携実施状況	・コロナの中難しい ・今年度は実施できていない。		2.7